



男性と生殖、セクシュアリティ



これまで、男性と生殖をめぐる問題はほとんど研究されてこなかった。本シンポジウムでは、この問題が顕在化する男性不妊に焦点をあてつつ、セクシュアリティの問題へと射程を広げ、議論を深めていく。



日時: 2017年1月22日(日)、14:00～17:30
場所: 立命館大学朱雀キャンパス3F、308教室

プログラム

- 14:00 趣旨説明 (由井秀樹)
- 14:05 ガイダンス: 不妊クリニックでの男性患者 (瀧川由美子)
- 14:20 男性にとっての不妊治療
: 泌尿器科を受診した夫たちの語りから (竹家一美)
- 14:50 男性不妊と男性性 (倉橋耕平)
- 15:20 戦後日本の不妊男性に対するまなざし (由井秀樹)
- 15:50 検査される男性身体 of 歴史
: 1930年代の学校と軍隊でのM検を中心に (澁谷知美)
- 16:20 休憩
- 16:30 コメント (中村正、永田夏来)

司会: 吉田一史美
(立命館大学専門研究員)

* 事前予約不要、参加無料
問合せ先: hdk-yui@fc.ritsumei.ac.jp



登壇者プロフィール

由井秀樹 (立命館大学専門研究員)

『人工授精の近代―戦後の「家族」と医療・技術』(青弓社、2015年)など。

瀧川由美子 (醍醐渡辺クリニック生殖心理カウンセラー)

「不妊治療を受ける女性へのカウンセリング―認知行動療法を試みて」『日本生殖看護学会誌』10(1)、2013年など。

竹家一美 (お茶の水女子大学大学院)

「『アクター』としての非配偶者間人工授精(AID)児―新聞記事の分析を通して」『年報社会学論集』28、2015年など。

倉橋耕平 (立命館大学ほか非常勤講師)

『ジェンダーとセクシュアリティ―現代社会に育つまなざし』(大越愛子との共編著、昭和堂、2013年)など。

澁谷知美 (東京経済大学准教授)

『立身出世と下半身―男子学生の性的身体の管理の歴史』(洛北出版、2013年)など。

中村正 (立命館大学教授)

『臨地の対人援助学』(村本邦子、荒木穂積との共編著、晃洋書房、2015年)など。

永田夏来 (兵庫教育大学大学院助教)

「夫婦関係におけるセクシュアリティ」(関修・志田哲之編『挑発するセクシュアリティ―法・社会・思想へのアプローチ』[新泉社、2009年]所収)など。

会場案内

立命館大学朱雀キャンパス3F、308教室

JR線、京都市営地下鉄二条駅すぐ

正面玄関入って右手のエレベーターをご使用ください
(他のエレベーターは学外の方は使用できません)。

お車でのご来場はご遠慮ください。

